

自宅療養者への往診

西 平 綾 子

私の1例目の新型コロナ自宅療養者への往診は、当院の発熱外来での検査で陽性となった学生の父親からの依頼でした。その当時濃厚接触者へ、保健所からご自宅に送られてくるPCR検査キットで陽性となったとのことでした。検査キットで陽性判明後、数日間は微熱のみの症状でしたが、3日目頃より38度〜40度の高熱を認めるようになり、処方を希望されたので、初めは電話診療で解熱剤の処方を行いました。発症後、一週間経過しても高熱は続き、かなり体力も消耗している、とご家族より連絡があり、往診を希望されました。その日の外来診察を終え、到着してからの手順を頭の中で色々と考えながら、往診先であるご自宅に向かいました。数日前に大阪府医師会より「新型コロナウイルス感染症にかかる自宅療養者への対応ガイド」が出ていることは承知しておりましたが、こんなにもすぐに往診依頼が来るとは思っておらず、目を通さないままでした。とりあえず、スタッフには迷惑をかけまいと、一人で往診先へ向かうことにしました。往診バッグに長袖ガウン、ゴーグル、キャップ、N95マスク、手袋、と普段発熱外来で使用するものを一通り入れ、補液が必要になる事を予測し、点滴セットも持

参しました。当時、第5波の真ただ中であり、連日、発熱外来を受診される患者さんからは検査をすれば新型コロナ陽性が出るといった状況でした。それにもかかわらず、行き道で通った商店街は人通りも多く、自粛疲れもあつてか、仕事帰りの人で居酒屋さんもほぼ満席状態でした。

あらかじめ、場所を検索していましたが、ご自宅の前は人通りも多く、そこで防護服を着るのはご近所の方の目も気になるため、とりあえず自宅に入って往診依頼のあつた患者さんの部屋に入る前に着よう、と思いインターフォンを押しました。奥様が玄関まで出てこられました。ドアを開けて中に入った瞬間はつとしました。既に陽性の患者さんが玄関に入つてすぐの居間で座って待っておられたのです。「先生、今日はお忙しいところありがとうございます。」と言われたものの、内心、まだ防護服も来ていないし、マスクもN95に交換していないし、すぐにもう一度外に出て着替えたいと思いました。気持ちを落ち着かせながら

「診察前に、防護服に着替えをしますので少し待ってくださいね。」と一言、往診バッグを床に置こうとしましたが、その自宅内は全て清潔区域ではない事に気が付き戸惑いました。診療所の発熱外来診察室とはまるで勝手が違い、もう少し色々な事態を想定してから来るべきだったと後悔しました。

患者さんは、1日3〜4回解熱剤を服用されていましたが薬

が切れると40度近い熱が出るのでした。診察時は調度解熱剤が効いていたのか、汗をびっしょりかいており、解熱していません。明らかな肺雑音は確認できませんでしたが、前日まで99%あった酸素飽和度が96%まで低下していたのが気になりました。高熱が続いていたせいか、食欲は低下しており、今の状況だと入院が必要で、できるだけ早く入院できるように手配しますから、と伝え、補液をして診療所に戻りました。翌日は済生会中津病院の訪問看護に点滴をお願いしていましたが、幸いその前に入院が決まり、入院先でのCT撮影の結果、肺炎像を認め、ステロイド点滴、レムデシビルでの治療を受け、約2週間後に軽快退院されました。

新型コロナウイルス感染症自宅療養者を訪問して感じたのは、第5波では今回の症例のようにコロナ陽性と診断された後、一度も医師の診察を受けないまま、症状が悪化し、入院・ホテル療養もできず自宅で不安でいっぱい患者さんがたくさんおられたのでは、ということ。2例目の往診症例もそうでしたが、正直なところたった500mlの点滴にそれ程の効果があつたとは思えません。それでも訪問し、聴診器をあて、患者さんの訴え、話を聞くだけでもすごく安心されました。そして医療者側について言えることは、病院や診療所で患者さんを診るのは全く勝手が違うのだと言うことです。幸い、自分自身は感染することはありませんでしたが、それなりに準備・対

策をしないと、普段の往診のように、診療の合間にさっと行ってくる、といったような簡単には済まされないとということです。第5波以降、大阪府医師会では自宅療養者の往診体制の強化に取り組んでいます。北区医師会でも北サポにて「コロナ感染自宅療養者に対するフローチャート」が作成され、自宅療養者への訪問看護、オンライン診療、往診の体制を整えております。

2022年1月にはいり、ついに第6波に突入しました。現在流行しているオミクロン株は若年者を中心に感染拡大しており、比較的軽症者が多いせいか、感染者の人数が増えている割には今のところ往診の依頼はありません。ただ、今後高齢者への感染拡大も懸念されており、またいつ往診依頼があるのか、緊張しながら毎日を過ごしています。